

レジメン名	催吐リスク
大腸がん CAPOX + Beva	中等度

適応	切除不能な進行・再発の 結腸・直腸がん				
投与期間	3週間を1コースとして、不応になるまで継続				
	薬品名	投与量	投与ルート	投与時間	備考
①	グラセトロンバッグ [®] 3mg(1mgでも可) +デカドロン注6.6mg 1~2V		点滴	30分	
②	ベバシズマブ (Beva) 生食100mL	7.5mg/kg	点滴	※1	
③	オキサリプラチン (L-OHP) 5%ブドウ糖液250mL	130mg/m ²	点滴	2時間	
④	カペシタビン	※下記用量	内服	2週間服用 1週間休薬	Day1の夕食後 から開始

※1 ベバシズマブ注の投与時間 : 初回90分 2回目: 60分 3回目以降: 30分まで短縮可能

※ カペシタビン投与量

体表面積 用量

1.36m ² 未満	1200mg/回 × 2回/日
1.36~1.66m ²	1500mg/回 × 2回/日
1.66~1.96m ²	1800mg/回 × 2回/日
1.96m ² 以上	2100mg/回 × 2回/日

投与スケジュール

薬品名	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
ベバシズマブ		↓																					
オキサリプラチン		↓																					
カペシタビン		↓ 夕	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓ 朝	休薬						

Day1

①グラセトロン+デカドロン (30分)

②ベバシズマブ ※1

③オキサリプラチン 2時

④カペシタビン Day1夕~Day15朝まで

減量規定及び中止基準

- ・Grade 3 の有事事象 (オキサリプラチン100mg/m² → 85mg/m²、カペシタビン減量1~2)
- ・Grade 4 の有事事象 (オキサリプラチン投与中止または85mg/m²、カペシタビン2段階減量)
- ・血液凝固能異常等、ベバシズマブ投与困難な場合、ベバシズマブははずしてもよい